

「SDGsセミナー」 & 「フィールドワーク」 合同開催・ノウハウ共有 (合同会社Magical Grow × 株式会社アレックスプランニング × 弁護士法人前島綜合法律事務所)

取組の概要

「セミナー&フィールドワーク」、「環境コンサル、マジック&大道芸」、「法律相談」等、**各社の特徴を生かし**、各種ファシリテーター資格を取得し、セミナーやフィールドワークの**共同開催**、展示会への共同出展を行っている。**ノウハウを共有**することで、より品質が高く、楽しいイベントを開催している。(海ごみを考えるワークショップ等)

該当する
SDGs目標
(3つまで)



取組を始めた動機・課題

弊社（小規模企業）単独ではセミナーやフィールドワークの案内、要員確保、運営などにも限界があった。セミナー単独開催や小規模なフィールドワーク開催にとどまっていた。お客様のご要望にマッチする準備をすることができず、お断りせざるを得ないこともあった。

解決に向けた具体策と成果

弊社セミナーを受講していただいた幾つかの企業に連携の提案を行った。合同開催・ノウハウ共有の実現により、満足度も向上し、多くのお客様からリピートいただいている。

取組による定量的な効果

自治体等： 7件、商工会議所： 7件
 一般企業： 15件、出前授業： 18件、展示会： 4件

連携のポイント

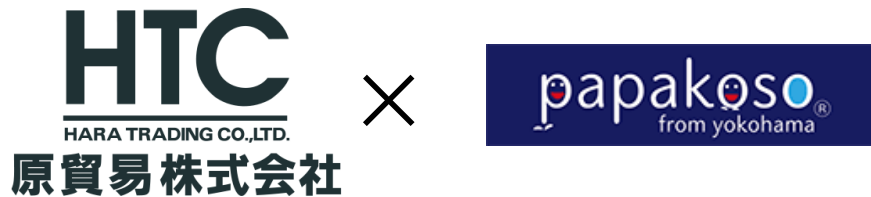
同業他社では無く、**異業種企業と連携**することで、それぞれの特徴を生かした新たな発見やビジネス展開につながる。

子育てグッズを通じた連携による相乗効果 (原貿易株式会社 × 株式会社ワンスレッド)

取組の概要

ベビー & キッズ商品や生活雑貨の商品企画を行う原貿易株式会社と、性別にかかわらず家事育児を推進する子育てブランド「papakoso (パパコソ)」を展開する株式会社ワンスレッドが、子育てグッズのEC販売を通じて連携し、販路拡大や取り扱い商品の充実につながりました。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

原貿易株式会社の課題は「商品の販路拡大」、株式会社ワンスレッドの課題は「ECショップにおける子育てグッズの拡充」でした。かながわSDGsパートナーミーティングでの登壇の機会に意見交換し、お互いに子育てに関する事業を行っているという共通点を見出し、連携を検討しました。

解決に向けた具体策と成果

子育てグッズを原貿易株式会社より株式会社ワンスレッドに提供し、ワンスレッドが運営するECショップで取り扱いを開始しました。

取組による定量的な効果

原貿易：SNSフォロワーへの認知増（700名以上）。ワンスレッド：ECサイトアクセス数がアップ（6,000名以上）。

連携のポイント

SDGsの取り組みの積極的な情報発信により、お互いの活動をよく知ることができスムーズな連携につながりました。

人生会議ワークショップ@地域ケアプラザ (西部ハウジング株式会社×株式会社こころ)

取組の概要

応募者の取引先などに協賛を募り、予算を確保しました。人生の最終段階のケアを専門にする**医師による講話**と、連携先が「**人生インタビューを通じた人生回想ワーク**」を**地域ケアプラザにて実施**しました。また、**準備やコミュニティラジオを活用した告知**を通じて、**医療・福祉と多職種の交流と親睦を深める人生会議の啓蒙活動**を行いました。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

人生の最終段階で希望する医療やケアについて、大切な人や医療・福祉関係者と話し合う**人生会議(ACP)**の認知率が約**6%**と低いことが、横浜市医師会主催のシンポジウムで明らかになりました。また、**認知していても話し合う機会が少なく、普及が進んでいません**。認知と普及には、**医療・福祉と多職種の連携が必要**と考えました。

解決に向けた具体策と成果

人生会議の認知と大切な人との対話の推進することが重要と考え、医師の講話とコミュニケーションワークを通じ、地域ケアプラザでの多職種交流を行い、認知と普及。

取組による定量的な効果

コミュニケーションワークに参加した中小企業経営者と親睦を深め、連携先が**コミュニケーション研修を2件受注**。

連携のポイント

事業内容は異なるが**(資産活用と研修)**、共通して企業を顧客としており今まで接点のなかった顧客にリーチできた。

明日葉の学童クラブで産官連携！水資源と環境をテーマにSDGs教室

(株式会社明日葉×ウォータースタンド株式会社、小田原市環境政策課)

取組の概要

明日葉が運営する学童クラブで、ウォータースタンド社、小田原市環境政策課と連携してSDGs教室を開催。

「小田原市内のごみの現状」について学んだあと、「水」をテーマに、ワークショップを実施。物語やSDGsめいろを通じて水資源の持続可能な利用方法について学びを深める。

該当するSDGs目標

(3つまで)

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



14 海の豊かさを守ろう



取組を始めた動機・課題

3者間で連携し、児童が地域社会への環境意識を高めること、そして水資源の重要性と持続可能な利用方法について学びを深め、SDGsを身近なものとして意識づけるため。

解決に向けた具体策と成果

放課後児童クラブで、環境問題を考えるSDGs教室を開催。地域の環境課題や水資源問題について学び、持続可能な環境を守るためにできること児童がそれぞれ考えた。

取組による定量的な効果

1年生から6年生までの児童約30名がSDGsについて学びを深めた。

連携のポイント

明日葉とウォータースタンド社、そして小田原市環境政策課の3者で産官連携を実現できた。

神奈川県・県西エリアを中心に44か所の学童クラブが参加！ 黒板壁紙端材を使った「SDGsアート」制作

(株式会社明日葉 × 株式会社デコリア)

取組の概要

デコリア社が製造する黒板壁紙の端材をキャンバスにし、明日葉が運営する学童クラブの児童が**自分の暮らす街の魅力を描いた**。デコリア社と数か所でワークショップを実施。制作には小田原市をはじめ**44か所のクラブ**が参加。夏休みに**各地域間交流を目的にオンラインで互いの作品を発表**。作品は「おだわらSDGsデイ2024」でも展示された。

取組を始めた動機・課題

児童がみんなで一つの作品を作り上げて共有し合うことで、自分たちの街を好きになるシビックプライドの醸成や、身近にある自然を大切にする気持ちを育む、リサイクル意識を高めるなど、SDGsへの学びを深めるため。

該当するSDGs目標 (3つまで)



解決に向けた具体策と成果

「(SDGsを) 学ぶ」「描く」「シェアする」「発表する」という過程で作品を制作。SDGsを意識づけられるよう各過程で工夫をした。

取組による定量的な効果

前年度に対し交流が小田原市をはじめ南足柄、湯河原、山北、大磯、静岡県長泉町と5エリア拡大。作品数も約2倍。

連携のポイント

デコリア社が明日葉クラブにてワークショップを実施。成果発表として各地域のクラブを繋いで交流。

みんなで作る！笑顔広がるまちづくりイベント開催 (スリーハイ×神奈川大学)

取組の概要

当社は、拠点である横浜市都筑区東山田の住民の皆さまを対象に、神奈川大学の学生と一緒にハロウィンイベントを開催しました。イベントでは、廃材を使ったさかなつりゲームや、当社のヒーターを活用したチョコフォンデュ体験などを用意し、多くのご家族でにぎわいました。地域の皆さまと楽しい交流の時間を過ごすことができました。

取組を始めた動機・課題

当社が拠点とする東山田地域は、工場と住宅が混在する準工業地域です。この地域で事業を続けていくためには、住民の皆さまと良好な関係を築くことが欠かせません。今年が当社が東山田に拠点を移して20周年という節目の年です。機会に、地域の皆さまと関係をさらに深め、共により良い地域づくりを目指して取り組みを始めました。

該当するSDGs目標 (3つまで)



解決に向けた具体策と成果

学生と社員で一から企画・運営を行いました。当日は大人**28名**・子ども**43名**がご来場され、「楽しかった」「また企画してほしい」という声を多くいただきました。

取組による定量的な効果

「ありがとう」の気持ちは伝わりましたか？」という質問にアンケート回答者全員が「はい」と回答されました。

連携のポイント

地域の学生や住民、社員が協力し合い、住みやすいまちづくりにつながる企画を実施した。

明日葉の学童クラブで産学連携のSDGs理科実験教室！

(株式会社明日葉 × 神奈川工科大学)

取組の概要

明日葉が運営する学童クラブで、神奈川工科大学の高村岳樹教授と研究室の学生さんと連携して「SDGs理科実験教室」を実施。第1回目はレモン電池実験を通して「環境にやさしいエネルギー」を学ぶ。第2回目は海岸でのプラごみ収集や実験体験を通して「海辺のプラスチックごみ問題」について考えた。

該当するSDGs目標

(3つまで)



取組を始めた動機・課題

実験を通して科学の面白さを感じてもらおうとともに、楽しみながらSDGsを体験、次世代に向けて学びを深めてもらうことを目的にスタート。

解決に向けた具体策と成果

学童クラブで、理科実験を通してSDGsへの学びを深める教室を開催。持続可能な環境を守るためにできることを児童がそれぞれ考えた。

取組による定量的な効果

第1回、第2回と実施エリアを拡げ、小田原市、横浜市、鎌倉市などの各地域で児童総勢160人が参加。

連携のポイント

テーマを検討し、長期休暇のタイミングで複数回に分けて産学連携の理科実験教室を実施。

お金とSDGsについて考えよう！明日葉の学童クラブで金融・SDGs教室を実施 (株式会社明日葉×さがみ信用金庫)

取組の概要

明日葉運営する小田原市内の学童クラブでさがみ信用金庫様が「金融」をテーマにSDGs教室を開催。児童に向けてお金の歴史や、さがみ信用金庫様が取り組むフードドライブ活動や地域清掃などのSDGs活動を伝える。2024年から発行された新札についても触れながら、貯金箱づくりを体験するなど持続可能な金融知識への学びを深めた。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

「お金」は生涯にわたって大切なテーマ。児童のうちから金融について学び、持続可能なお金の使い方への知識を深めることがねらい。

解決に向けた具体策と成果

放課後児童クラブで、金融知識を深めるSDGs教室を開催。「学び」と「体験」をテーマにお金の使い方について考えた。

取組による定量的な効果

3年生以上の児童約30名が金融とSDGsについて学びを深めた。「おこづかいを大切に使いたい」という声も。

連携のポイント

市内に造幣局もあり、「お金」が身近な児童に対し金融教室を実施。

共に創る就労支援の機会

(株式会社MURONE × 認定NPO法人ユースポート横濱様)

取組の概要

認定NPO法人ユースポート横濱様で培った、就労支援機関利用者の方への動機づけと支援ノウハウを(株)MURONEで実施した会社見学会や体験会に織り込み、**利用者の方に安心して就労応募してもらえるように取り組んだ。**その結果、製造業に興味を持っているが、**応募に踏み出せない利用者の方に有効な支援策が得られた。**

該当する
SDGs目標
(3つまで)



4月25日版(第1版)

第10回企業見学会 株式会社MURONE

☆履歴書不要! ☆
☆まずは見学してみよう! ☆

企業に訪問して、実際にどんな仕事をするのかの説明を聞いて、見学をします。見学後、希望すれば体験(後日)も可能です。働いてみたいと思ったら応募もできます。当日はサポステのスタッフが同行します。

サポステの皆さんの参加をお待ちしています!

採用者から一言!

未経験でも製造業に興味がある方は、是非会社下さい。お仕事の内容は、検査業務、バリ取りに金属加工オペレーターも目指せます。女性の方も活躍しています。作業研修は動画研修もあり、何度も見直せますプログラムで一から学べますので安心してください
※求人詳細は裏面参照



取組を始めた動機・課題

認定NPO法人ユースポート横濱(よこはま若者サポートステーション)の「利用者の中で、製造業に興味を示す方々に対し、対応してくれる企業が見つからない」という課題と(株)MURONEでは、「人員増強をしたいが、募集するも集まらない。」という課題を相互に解決するために取り組みを開始した。

解決に向けた具体策と成果

パートナー間で課題への想いを素直に相談しあうことにより、相互解決の道を開く事が出来た。今後も継続連携し、利用者の方々へ一歩を踏み出す支援をしていきたい。

取組による定量的な効果

連携取り組みの結果、見学会16名、体験会7名ご参加の中から、3名の利用者の方に採用内定の提示ができました。

連携のポイント

相互尊敬と信頼、利用者の方の気持ちを察しながらの見学会や体験会の実施が、就労応募、内定につながった。

ワークショップ連携から新規取引の開始～社会的価値と経済的価値の創造へ～ (株式会社デコリア×株式会社高部金属)

取組の概要

2社間連携のSDGs普及啓発活動として、多角的な視点から考え実生活での実践に繋げていく事を目的としたイベント・ワークショップを検討。連携の取組として24年6月の南足柄市環境フェア高部金属ブース内でワークショップを実施。また連携で出来た縁から新規取引が始まり、両社が抱える課題を解決し社会的価値と経済的価値創造にも繋げた。

取組を始めた動機・課題

高部金属が登壇した神奈川県SDGsパートナー向けセミナーにデコリアが参加。名刺交換を行い、互いの会社見学を実施し連携・課題に関して議論。高部金属の課題がワークショップの環境教育内容の数不足・資源循環向上。デコリアの課題がSDGsの取組認知度向上・現状分別後の金属資源委託先が遠く環境負担低減を配慮した委託先検討であった。

該当するSDGs目標 (3つまで)



南足柄市環境フェア・金属資源納品の様子

解決に向けた具体策と成果

2社間:ワークショップ実施→環境教育内容数増・認知度向上
 デコリア:高部金属へ分別後の金属資源を納品→CO2削減
 高部金属:分別後の金属資源を受入→資源循環向上

取組による定量的な効果

デコリア:委託先変更により約13.4kg/回のCO2削減期待効果
 高部金属:24年8月～10月計3回分で鉄金属全体の約1%収益向上

連携のポイント

互いの事業内容や課題点をよく知ること
 関係を継続する為に定期的に対面し情報交換の実施

おが屑を活用した技術構築と製品開発

(東立化工株式会社 × 株式会社マルトシフロアーコーポレーション × 株式会社放電精密加工研究所)

取組の概要

東立化工では、射出成形によるプラスチック製品の製造を行っています。この度、マルトシフロアーコーポレーションが取り扱っている県内間伐材等の製材所で加工する際にでるおが屑を放電精密加工研究所でプラスチックを混ぜ、バイオマスプラとして製品開発を行っています。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

プラスチック製品に関わる企業として、カーボンニュートラルやリサイクルという点だけでなく、神奈川県内でできる資源循環とはなにかと考えると、成形先だけではなく、他社や地域と連携する必要があると感じた為。

解決に向けた具体策と成果

プラスチックと間伐材等の木質バイオマスを混ぜる材料から製品開発を行うことで、地域資源の活用とプラスチック使用量の削減ならびにリサイクルを促進します。

取組による定量的な効果

木質バイオマス55%配合により石油由来プラの使用量を減らすとともにおが屑の新しい利用方法を提案します

連携のポイント

県内資源を県内企業で取り組みが完結することで小さい範囲での資源循環の取り組みを目指しています。

明日葉運営の子育て支援拠点でこども服の「おさがり交換会」を開催！

(株式会社明日葉×地球もわたしも元気になる合同会社)

取組の概要

明日葉が運営する子育て支援拠点で、地球もわたしも元気になる合同会社様と連携して、ご家庭でサイズアウトしたこども服の「おさがり交換会」を開催。地域でおさがり服を循環させるだけでなく、子育て中の保護者同士のコミュニケーションの場をつくることも目的として実施。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

- ・すぐにサイズアウトしてしまうこども服を地域で循環させ、エコについて考えるきっかけを作りたいと考えた。
- ・保護者同士のコミュニケーションのきっかけ、場となるように考えた。

解決に向けた具体策と成果

ご家庭に向けサイズアウトしたこども服を募り、地域でおさがり服が循環するよう場を整えた。

取組による定量的な効果

120cmまでのベビー・キッズサイズのおさがり服が約400点集まった。交換会には32組の親子が参加。

連携のポイント

交換会には明日葉の子育てアドバイザーも常駐し、お子さまを見守り保護者さまが安心して服を選ぶサポートをした。

プラスチックと糸のアップサイクル体験でリサイクルをより身近に！

(株式会社湘南貿易 × 大貫繊維株式会社)

取組の概要

プラスチックをアップサイクルしてキーホルダーを作るワークショップを企業へ提案・実施していたがストラップは既製品を購入していた。企業連携で廃棄予定の糸からストラップ作り体験も実施することができるようになり、1つのワークショップで、プラスチックと糸のリサイクルについて伝えられるようになると共に、イベント受注費用も1.3~1.5倍向上させることができた。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

マニュアルインジェクション装置を自社購入し、PETボトルキャップ等からリサイクルしてキーホルダーを作るなど廃プラスチックのリサイクル普及に力を入れてきたが、プラスチック以外のリサイクルも伝えられればより説得力があるのではと考え始めた。

解決に向けた具体策と成果

ペットボトルのリサイクルで紐を作っている企業様は何社かあったが、よりエコな残糸をアップサイクルしてストラップや靴紐等の制作をしている大貫繊維様を神奈川県庁のイベントに参加した際に知り、ミーティングを重ね一連でのワークショップが可能となった。

取組による定量的な効果

ストラップ作りもワークショップとして受注できるようになったので、1件あたりの売り上げが1.3~1.5倍に上昇。

連携のポイント

プラスチックも糸もどちらも参加者がものづくりを体験できる事が共通していた点。